

これまでケーブルからローカルな話題や
エリア情報などをお届けします



今月のコマド里は
奈良市都祁のご紹介！



三陵墓古墳群史跡公園（都祁・南之庄町）

■都祁の歴史は、はるか縄文時代に遡ります。大和高原の中央に位置する都祁は、文明が早く開けた大和地方の中でも、早い時期に人が住み着いたといわれています。都祁に数多く残っている遺跡は当時の人々の暮らしぶりを物語ってくれます。

■「つけ」という名称は、古事記や日本書記にすでにその名を見ることができます。

■農耕生活が営まれ、集落が誕生する頃、この地に住んでいた人々は、「闘鶏国(つけこく)」を築き、大和朝廷に統一されるまで、独自の文化を育みました。

■645年の大化の改新で、都祁郷と称するようになり、710年の平城京遷都以降、伊賀国や伊勢国へ通じる交通の要衝として栄えました。江戸時代、伊勢藤堂藩の支配下にあった都祁は明治維新を経て昭和30年、都介野村と針ヶ別所村が合併して都祁村となり、平成17年、奈良市と合併しました。



① 三陵墓古墳【住所】奈良市都祁南之庄町

【交通】・名阪国道 針ヶから約2.5km。
・近鉄榛原駅から、針ヶインター行きバス20分「南之庄東口」下車、徒歩4分。

② 吐山スズラン群落（はやますずらんぐんらく）



所在地
都祁吐山町



すずらんの花言葉
「再び幸せが訪れる(幸せの再来)・純粋」

■夏は涼しく、冬は寒さが厳しいこの地域では、吐山香醉山の麓に、わが国で南限とされる寒冷植物のスズランの群落があり、天然記念物に指定されています。5月下旬頃には、白い可憐な花が楽しめますので、春の都祁に是非、遊びに来て下さい。

◆お問い合わせ先◆

奈良市都祁行政センター
地域振興課

【TEL】0743-82-0201

